

令和6年3月31日

# DX推進状況

令和5年度

 高知通運株式会社

代表取締役 曾志崎 雅也

# DX戦略に対する 定量・定性評価

No	課題/目的	目標値	実績値 (定量)	実績値 (定性)
1	配車スケジュールの集約化	ファイル共有ソフト(One Drive)を利用した配車表のWeb化(出先でも閲覧・操作可能)	配車表のWEB化(発荷・複荷の運行スケジュール)は100%達成	担当者全員がソフトの操作及び入力の意義を理解して業務を遂行することができた。
2	各種帳票の自動反映	付随書類(配車指示・車番連絡表等)の一括処理ツール	地場輸送向けの一括処理ツールは作成完了	一度の入力で完結・出力できるような仕組みを構築(一括管理)できた。 長距離輸送向けのツールについては作成中
3	配車予測の高度化/自動化	配車人員の作業量 4.0名→3.5名ボリュームへ	配車人員の作業量 4.0名→3.5名ボリュームへ	高知大学との産学連携により自動配車システムならびに台数予測システムのテストを行い、さらに各種帳票への手続き自動化の設計、試作まで進めることができた。
4	車両/ドライバーデータのデジタル化による付加価値創出	・事故情報の把握、冷凍情報(リアルタイム温度管理)・位置情報(着時間、労務管理)の把握等 ・乗務員に関する労務管理のシステム化	デジタコ(NPシステム社)の新サービス導入の検討	個々の情報は管理をしているが、統一にあたっての費用対効果、必要性等については引き続き検討中
5	社内インフラの大整備	全グループネットワーク網の構築 全グループの経理・給与システムの統一	ネットワーク網の構築完了 経理・給与システムの統一化により、各社にかかるコストの削減	全グループのネットワーク網の構築が完了し、老朽化したPCの入替、保守サービスの統一が進んだ。さらに、経理・給与システムの統一が完了し、システムにかかるコストを削減できた。
6	人材育成	・社員のスキルの向上 ・新卒学生(高校・専門学校・大学)の登用計画	・定期的な社員教育 ・プロジェクトメンバー以外の人材育成	外部講習会に参加することによりスキルアップ!
7	社内情報管理	①社内の情報資産管理台帳の継続 ②業務マニュアルの作成・更新 ③ポータルサイトの拡充	①100%完成 ②部署単位でのマニュアルは一部作成済 ③プラットフォームは完成している→各グループへの横展開	①は四半期毎に更新をしている ②随時作成・更新中 ③ホールディング化によるサイトの見直し

## 社長メッセージ

高知県DX事業のモデル企業として応募する際、物流でDXって？というのが本当のところでした。参加企業として認定していただくために、デジタルで物流に新しい付加価値をとそれなりの表現を繕ってなんとか認定をしていただきました。応募審査の際に大手物流会社でも難しい事が実現できるかとの質問があり、末端の現場にいる我々中小企業だからこそできるはずだと、勢いでご回答申し上げたことを覚えています。石の上にも3年と言いますが、ここにきてやっと小さな光が見えて気がします。これもすべて、ご指導いただきました皆様のおかげです。桃・栗・・・柿とは言いませんが、次の3年で結果を出し、自信をもって物流DXを語りたいと思います。

代表取締役 曾志崎 雅也